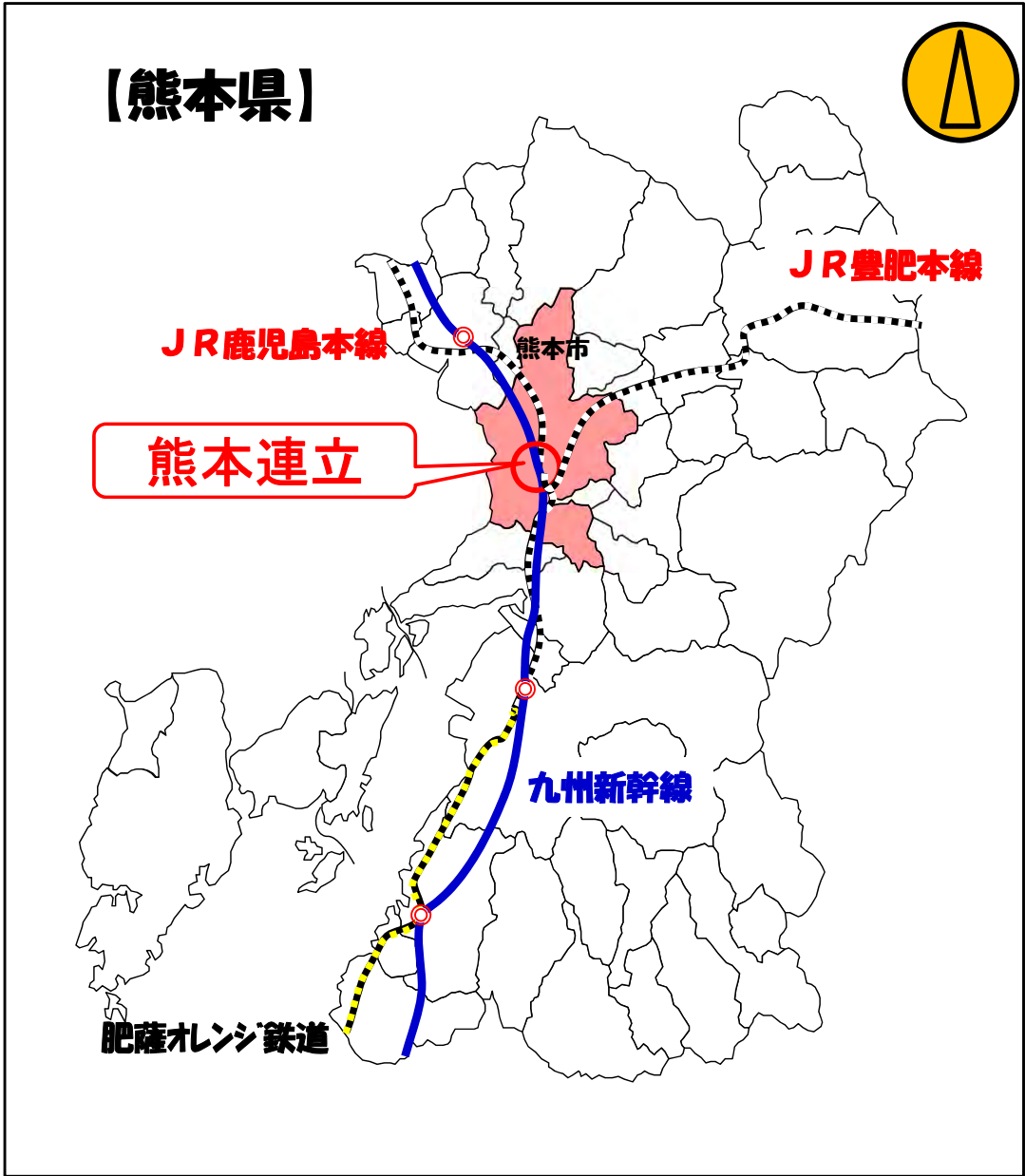


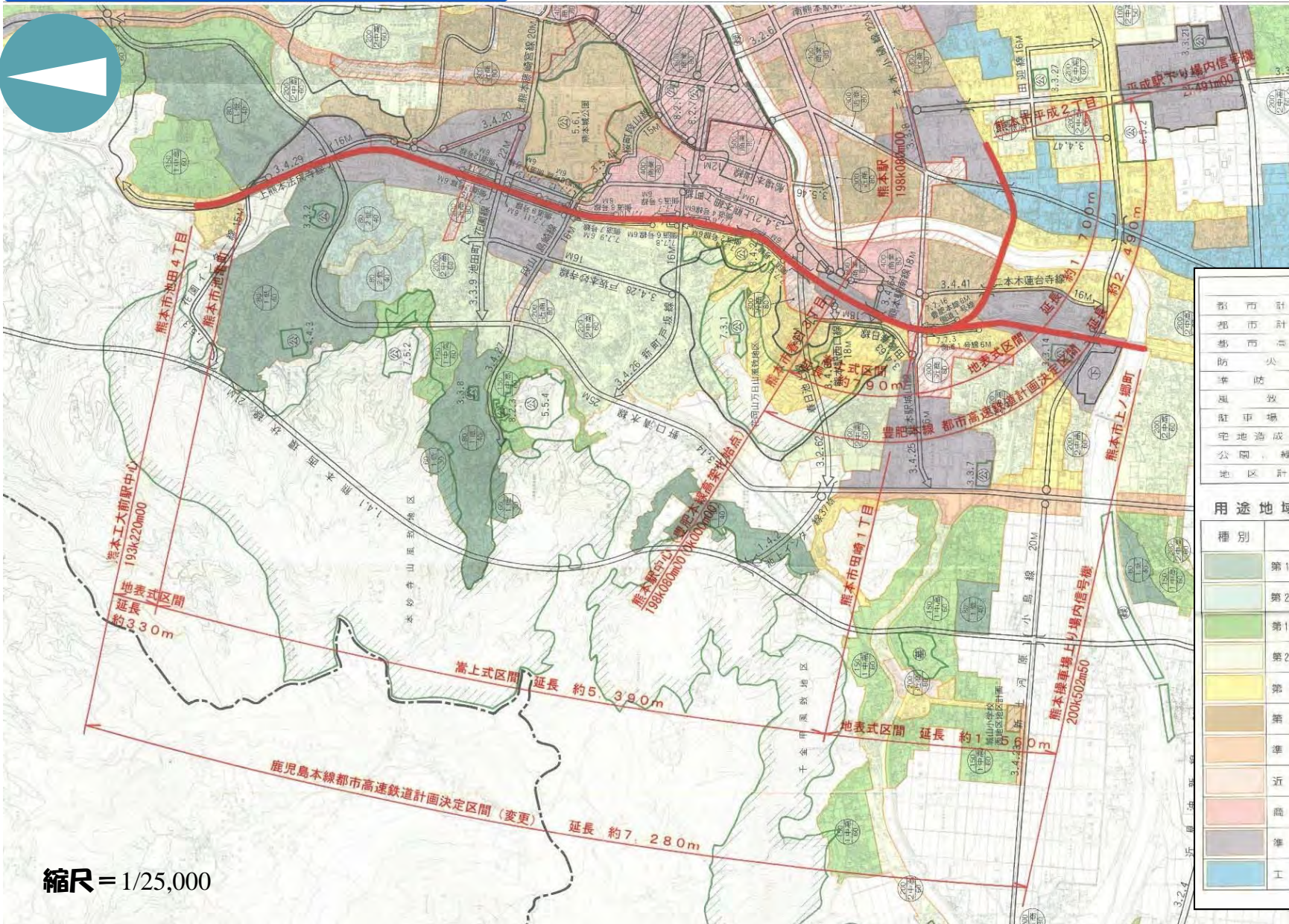
事業概要

応募No.	18		
事業主体	熊本県	実施都市名	熊本市
応募者名	熊本県土木部道路都市局都市計画課		
ふりがな 事業名称	JRかごしまほんせんとうくまもとえきふきんれんぞくりったいこうさじぎょう JR鹿児島本線等熊本駅付近連続立体交差事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、熊本駅及び上熊本駅を含む、JR鹿児島本線上下線約6km区間とJR豊肥本線約1km区間の鉄道高架化を行ったもので、15箇所の踏切を除却し、交通渋滞及び踏切事故の解消と鉄道により分断された市街地の一体化により、都市機能の強化を図るものである。</p> <p>事業の実施に当たっては、九州新幹線建設事業と同時に並行して施工する全国初のケースであったことから、県、熊本市、JR九州と鉄道建設・運輸施設整備支援機構を含めた4者で相互に連携し事業を進めてきた。</p> <p>また、「熊本の陸の玄関口」となる新しい熊本駅舎は、世界的建築家である安藤忠雄先生のデザイン設計によるもので、外壁は、くまもとのシンボルである熊本城の石垣にみられる「武者返し」の反りを連想させるものとなっており、ホーム上屋は、県産木材を使用し、熊本らしい質実剛健な強さと、緑豊かな自然を表現している。</p>		
事業規模	事業延長	JR鹿児島本線 約6km JR豊肥本線 約1km	
	幅員	—	
	事業期間	平成13年度～平成30年度	
	事業費	約626億円	

事業位置図



都市計画図(用途地域図)



凡例

都市計画区域	——
都市計画道路	→
都市計画線道	——
防火地域	▨
準防火地域	▨
風致地区	▨
駐車場整備地区	▨
記念造成等規制区域	▨
公園、緑地、墓園	⊙
地区計画区域	▨

用途地域

種別	名称	容積率	高さ	概要
第1種低層住居専用地域		30%	60%	高さ制限10m以下
		40%	80%	外壁後退1m以上
第2種低層住居専用地域		40%	80%	高さ制限10m以下
		50%	100%	外壁後退1m以上
第1種中高層住居専用地域		40%	100%	
		50%	150%	
		60%	150%	
第2種中高層住居専用地域		50%	100%	
		60%	150%	
第1種住居地域		30%	200%	
		40%	200%	
第2種住居地域		60%	200%	
		80%	200%	
準住居地域		60%	200%	
		80%	300%	
商業地域		80%	400%	
		80%	500%	
		80%	800%	
準工業地域		50%	200%	
		60%	200%	
工業地域		60%	200%	

※工業専用地域は、指定していません。

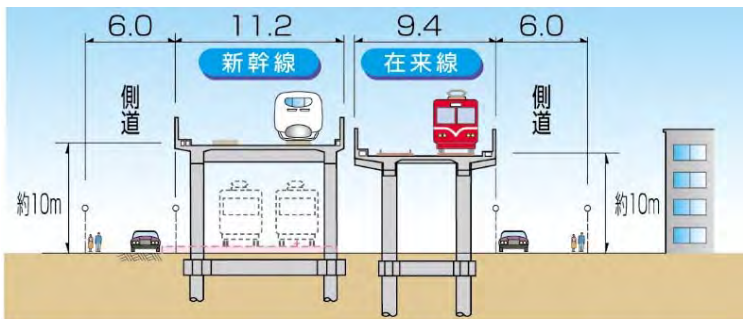
縮尺 = 1/25,000

平面図

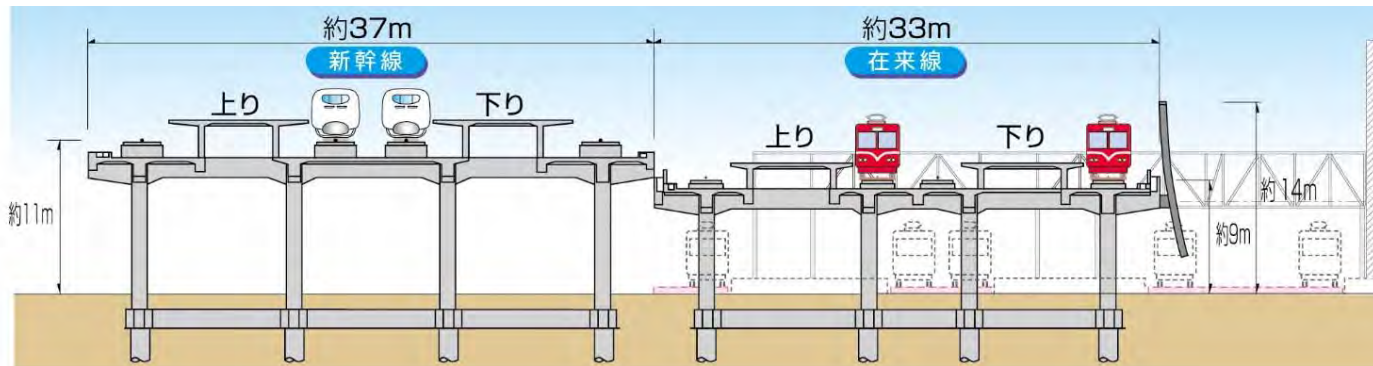


標準断面図

一般部



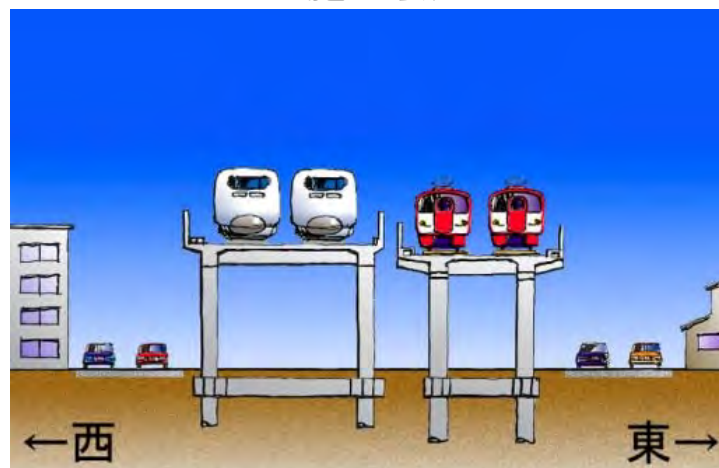
熊本駅部



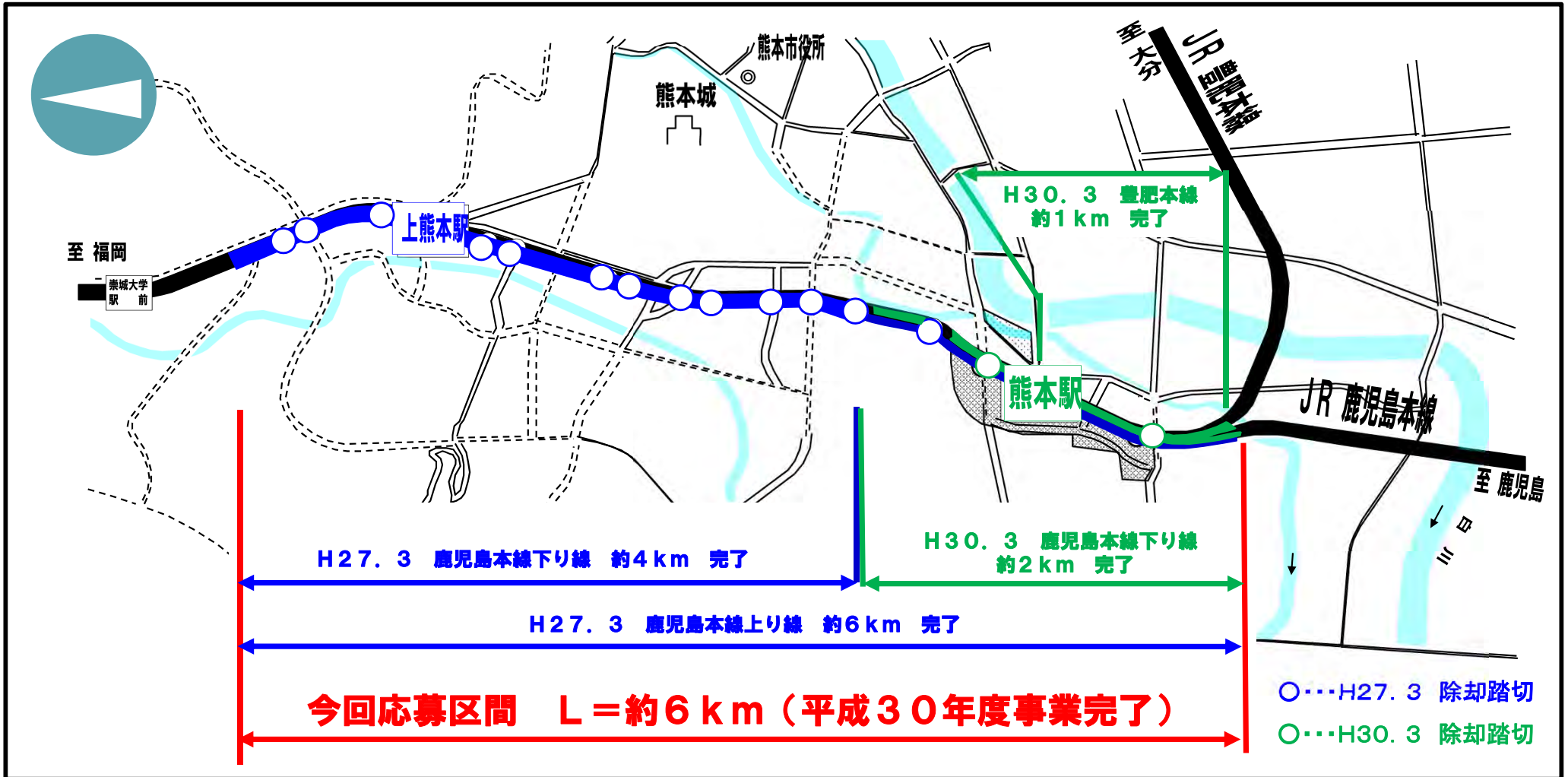
施工前



施工後



路線全体の進捗状況



事業前写真

事業後写真



県道熊本玉名線(本妙寺踏切)

平成14年12月撮影



平成28年6月撮影



市道段山島崎線(段山陸橋)

平成19年6月撮影



平成27年9月撮影



事業前写真

事業後写真



熊本駅



平成18年4月撮影

令和元年9月撮影



航空写真(熊本駅付近)



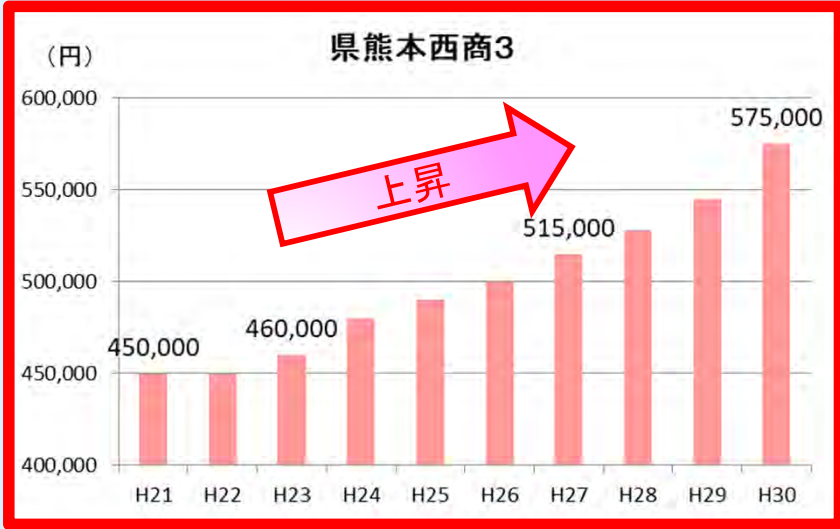
平成17年3月撮影

平成31年3月撮影

事業効果アピール資料

熊本駅周辺の地価の推移

○連立事業により、熊本駅周辺の都市としての魅力が向上したことで、直近10年間で商業地価及び住宅地価がいずれも上昇している。また、今後も駅周辺の開発が予定されているため、さらに上昇していくものと思われる。



※掲載地点は、熊本駅周辺の代表地点

事業効果アピール資料

広域避難所・指定緊急避難所までのアクセス性向上

○踏切が除却されたことで、交差道路整備(15箇所→35箇所)を行うことができ、東西の往来がスムーズになった。
その結果、緊急時の避難場所の選択肢が広がり、安心安全な街に生まれ変わった。



事業効果アピール資料

高架下駐輪場の整備

○高架下の空間を有効的に活用して駐輪場を整備した結果、駅利用者や駅周辺に通勤・通学している方が利用できるようになり、駐輪場の利用率が高く、放置自転車の解消につながっている。



【駐輪場整備前】

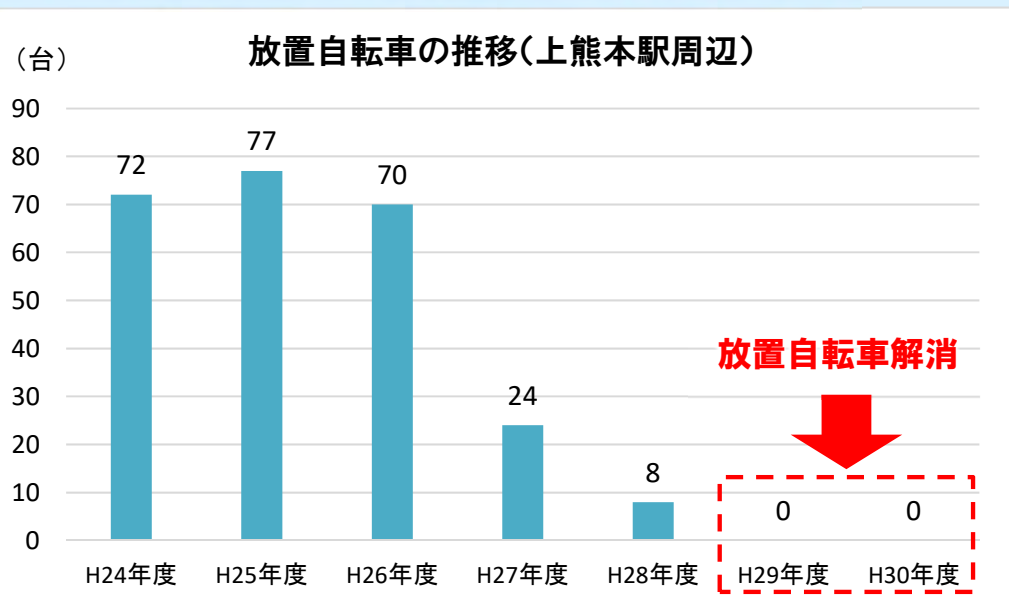


▲旧段山踏切周辺の放置自転車

【駐輪場整備後】



▲段山自転車駐輪場



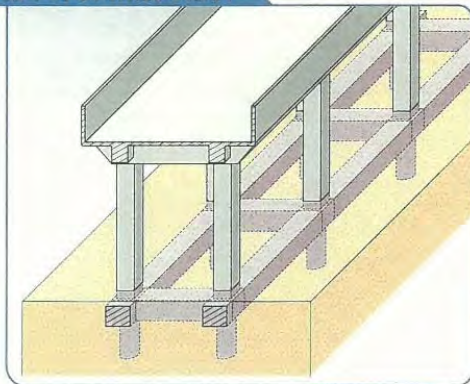
苦労や工夫等アピール資料

本事業は、九州新幹線建設事業と同時に並行して施工する全国初の事例であることから、連立事業者と九州新幹線建設事業者で相互に連携を図り、実施してきた。

施工方法は、新幹線高架橋を先に建設した後に在来線高架橋を建設する「新幹線先行方式」を採用している。この施工方法とすることで、新幹線高架下に在来線の仮線を設けることができ、用地取得などが不要となるため、**事業費の削減**につながっている。また、在来線を運行しながらの新幹線建設となるため、可能な限り在来線に影響のないよう、基礎の縦梁をなくし、**掘削範囲を最小限**にとどめている。

このように、連立事業者だけでは困難な施工も、新幹線建設事業者と幾度となく協議を重ねることで実現することができ、合理的な施工を行うことができた。

標準的な高架橋の形状



連立区間の標準的な高架橋の形状

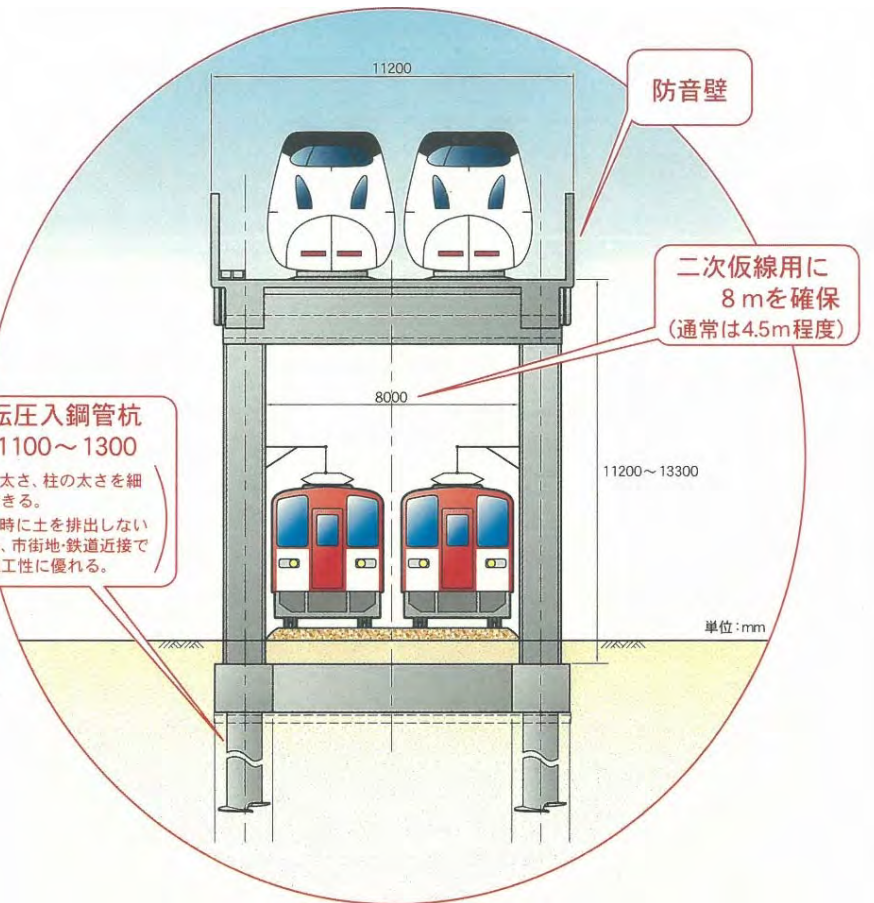


縦梁がない

- ◎掘削に伴い排出する土の量を減らすことが出来るため、市街地・鉄道近接での施工性に優れる。
- ◎掘削面積が少ないため、近接する在来線に与える影響を抑制できる。

回転圧入鋼管杭 φ 1100～1300

- ◎杭の太さ、柱の太さを細くできる。
- ◎施工時に土を排出しないため、市街地・鉄道近接での施工性に優れる。



受賞歴・報道資料

総勢700人未明の大作業

高架橋快走 高架化された熊本駅-上熊本駅間を走るJR在来線の乗り列車-14日午後、熊本市西区の北高橋付近



県が進めているJR鹿児島本線6キロの連続立体交差(高架化)事業は14日、熊本駅以南の下り線を先を歩く。先行区間が開業。在来線の列車が高架橋の上を走り始めた。同日未明には人垣賑やかな開業切り替え作業があった。

鹿児島線の高架化は熊本県最大の北高橋付近から熊本駅南側の江戸川橋りょうまで。今回は上り線6

県が進めているJR鹿児島本線6キロの連続立体交差(高架化)事業は14日、熊本駅以南の下り線を先を歩く。先行区間が開業。在来線の列車が高架橋の上を走り始めた。同日未明には人垣賑やかな開業切り替え作業があった。

鹿児島線の高架化は熊本県最大の北高橋付近から熊本駅南側の江戸川橋りょうまで。今回は上り線6

3月14日開業
2018年開業



切り替え完了
新幹線高架下を走る仮設線から、左の高架に載がる線路につき替えられたJR鹿児島本線-14日朝、熊本市西区の北高橋付近

人海戦術
未明に行われたJR鹿児島本線の高架切り替え作業。新幹線高架下を走る仮設線から人海戦術で、左の高架に載がる線路につき替えられた。14日午前0時すぎ、熊本市西区の北高橋付近

最後の地上走行
JR鹿児島線の高架化前日。新幹線下の仮設軌道を通る最後の上り列車。13日午後11時40分ごろ、熊本駅西側の北高橋付近

切り替え踏切
高架化前日のJR鹿児島本線、本妙寺踏切の進捗。13日夜、熊本市西区

「写真」
熊本駅南側
熊本市西区

一部高架開業・上熊本駅舎完成
平成27年3月15日 熊本日日新聞

JR熊本駅高架開業

高架化されたJR熊本駅。左から九州新幹線、在来線の線路・ホーム、高架化前の旧ホームなどが並ぶ



創造的復興 けん引車に

肥後よかモン市場」もオープン

「肥後よかモン市場」もオープンした。午前5時24分、高架開業の記念式典で、清島郁夫知事は「熊本駅周辺の創造的復興を目標とする新しいまちづくりのけん引車になる」と述べた。

記念式典
「肥後よかモン市場」もオープンした。午前5時24分、高架開業の記念式典で、清島郁夫知事は「熊本駅周辺の創造的復興を目標とする新しいまちづくりのけん引車になる」と述べた。

「肥後よかモン市場」もオープンした。午前5時24分、高架開業の記念式典で、清島郁夫知事は「熊本駅周辺の創造的復興を目標とする新しいまちづくりのけん引車になる」と述べた。

を適用し、都市機能の充実を図ることもできる」とあいさつした。

ホーム下にオープンした「肥後よかモン市場」は熊本の食品の魅力を発信する場として、販売や飲食、コトエクスポートなど、多岐にわたる店舗が入っている。また、駅前周辺の旧川口と新幹線口を結ぶ道路は高架上、陸段の上り下りが必要だったが、直線道路に結ばれた。今回、熊本駅周辺の駅ビルが建てられ、2021年度の完成を予定している。

【菅井光俊】

全線高架開業
平成30年3月18日 毎日新聞

受賞歴・報道資料

新・JR熊本駅 お城の風格



●新しくなった熊本駅の外観①式典には熊本駅の歴代駅長19人も参加し、蒲島郁夫県知事らとともにくす玉を割った＝いずれも熊本市西区春日3丁目



「武者返し」の石垣模し外壁 完成式典

JR熊本駅の新駅舎が完成し、16日、完成記念式典が開かれた。熊本城の石垣をイメージして造られたという外観が特徴だ。今後駅前広場や駅ビルなどの整備が進められる予定で、参加者は周辺地域の活性化への意気込みを見せた。

新駅舎を巡る一連の事業は、踏切による交通渋滞などを解消するため、2001年から始まり、線路の高架化などの工事が進められてきた。高架化は18年3月に完了し、旧駅舎の解体も今年3月に終了した。

新駅舎は、世界的に著名な建築家、安藤忠雄さんが設計した。「熊本を誇れる駅舎」として、風格や独自性を意識したという。その

外観は、上に行くほど三反り返る「武者返し」と呼ばれる熊本城の石垣を模している。石垣が描く曲線のように、アルミパネルを重ねて反り返った外壁は、全長約240メートル、高さは最大で約12メートルになる。
今後、駅周辺では熊本市が駅前広場を整備するほか、21年春ごろにはJR九州が駅ビルを開業するなど、再開発が本格的に進む予定だ。式典で大西一史熊本市長は「陸の玄関口として、ふさわしい魅力ある場所にしたい」と述べ、蒲島郁夫県知事は「さらなるにぎわい作りに努める」と話した。
新しくなった熊本駅前では、17日まで「KAB駅前フェスタ2019」が開かれている。(杉山歩)

熊本駅舎完成
平成31年3月17日 朝日新聞